

楽典和声講座 演習問題 #05 調と移動ド 解答

1. 移調 ～ 幅を変えずに主音を動かす

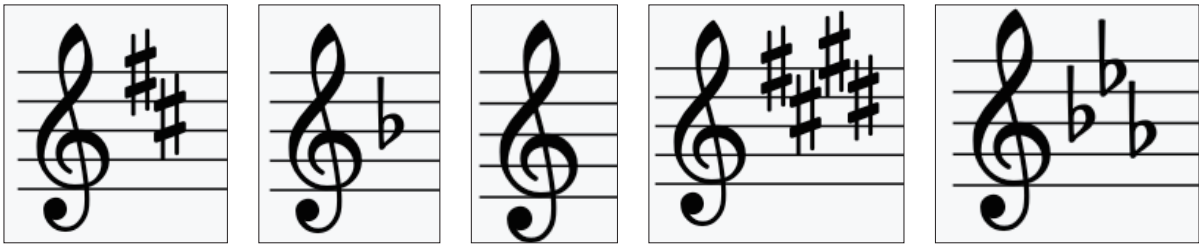
◆ 次の文章の空欄を埋めよ。

長音階を用いた曲のことを、長調の曲という。これをドイツ語では (dur) という。一方、短音階を用いた曲を、短調の曲という。これをドイツ語では (moll) という。これらのドイツ語と、主音のドイツ音名を併せることで、調の名前を呼び表すことができる。例えば、ミが主音の長調を (E-dur)、ソが主音の短調を (g-moll) という。

2. 調号と臨時記号 ～ 調性判断の基礎

次の調号に対し、長調と短調のそれぞれの場合について、調の名前をドイツ式で書け。

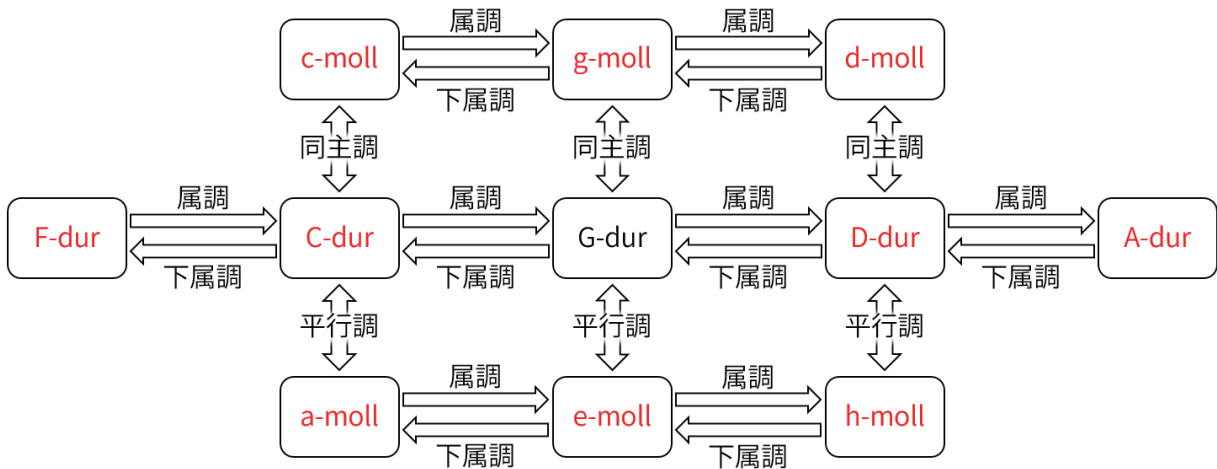
(Hint. 調号の「数」にだけ注目すればよいので、ト音記号が読めなくても解けますよ)



長調： (D-dur) (F-dur) (C-dur) (E-dur) (Es-dur)
 短調： (h-moll) (d-moll) (a-moll) (cis-moll) (c-moll)

3. 関係調 ～ 調の親戚

以下の図は関係調を表したものである。空欄を埋めよ。



5. 移動ド ～ 主音を基準に呼び替える

次の楽譜に移動ドをかけ。へ音記号・ト音記号のいずれかだけでも構わないが、余力があれば両方やってみよう。